



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月28日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン  
 コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	97,383	3.1	1,613	△60.8	1,838	△61.3	1,096	△67.5
2022年3月期	94,451	—	4,117	—	4,745	—	3,374	—

(注) 包括利益 2023年3月期 1,366百万円 (△56.1%) 2022年3月期 3,110百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	45.64	—	2.1	2.2	1.7
2022年3月期	140.47	—	6.5	5.9	4.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	87,630	53,540	61.1	2,228.59
2022年3月期	83,262	52,786	63.4	2,197.20

(参考) 自己資本 2023年3月期 53,540百万円 2022年3月期 52,786百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	2,117	△6,739	3,970	16,183
2022年3月期	8,090	△5,121	△1,085	16,793

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期 末	第2四半期 末	第3四半期 末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00	600	17.8	1.2
2023年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00	624	57.0	1.2
2024年3月期(予想)	—	13.50	—	13.50	27.00		29.5	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	4.8	300	—	400	82.1	300	144.1	12.49
通期	102,000	4.7	3,000	85.9	3,200	74.1	2,200	100.6	91.57

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）北日本羽黒食品株式会社

（注）詳細は、添付資料P.13「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（当連結会計年度における重要な子会社の異動）」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.13「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期	27,700,000株	2022年3月期	27,700,000株
2023年3月期	3,675,613株	2022年3月期	3,675,613株
2023年3月期	24,024,387株	2022年3月期	24,024,387株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

（参考）個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	93,775	2.6	1,438	△60.1	1,721	△57.3	1,397	△50.5
2022年3月期	91,408	—	3,602	—	4,028	—	2,820	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	58.16	—
2022年3月期	117.39	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	86,189	53,302	61.8	2,218.68
2022年3月期	81,814	52,243	63.9	2,174.62

（参考）自己資本 2023年3月期 53,302百万円 2022年3月期 52,243百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1)当期の経営成績の概況 .....	2
(2)当期の財政状態の概況 .....	3
(3)当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4)今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1)連結貸借対照表 .....	6
(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3)連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4)連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5)連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(当連結会計年度における重要な子会社の異動) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. 個別財務諸表 .....	14
(1)貸借対照表 .....	14
(2)損益計算書 .....	17
(3)株主資本等変動計算書 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス対策の規制緩和により緩やかな回復基調で推移しましたが、ウクライナ情勢の長期化とそれに伴う原材料・エネルギー価格の高騰に加え、欧米との金利差拡大による急激な為替変動等、先の見通せない不安定な状況で推移しました。

菓子・飲料・食品業界は、各種調達価格上昇の影響から商品価格の値上げが相次いだ一方、実質賃金が伸び悩む中で消費者の低価格志向への対応も求められる難しい状況が続きました。

このような状況下で当社グループは、食品製造企業として一貫して品質保証第一主義に徹し、感染防止対策の徹底に努めながら安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、消費の多様化にお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。具体的には、消費者の節約志向が高まる中、当社製造技術の応用による品質と価格が調和した商品の開発と、既存ブランドの活用による安心感の高い商品展開を行い、お客様の笑顔と満足につながる活動を推進してまいりました。また、健康志向のニーズや環境負荷低減に対応した課題解決型商品の展開や、企画提案型の営業活動と店頭フォローを積極的に行い、求められる価値の実現に向け機敏かつ柔軟に取り組みました。

2023年3月には、当社従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に取り組んでいる法人として、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人～ホワイト500～」の認定をいただきました。

その結果、社会経済活動の回復につれて需要が落ち着いた品目や価格改定を実施し伸び悩んだ商品群があったものの、値ごろ感の高いファミリーサイズ商品群にご支持をいただいたことや、チョコレート品目、キャンデー品目などが順調に推移したことから売上高は前期を上回りました。

利益面では、経費の効率的な使用ならびに生産性の向上と原料の大量調達による調達コスト低減や省力化設備の導入によるエネルギーコスト削減などに継続して取り組んだことに加え、一部商品の価格改定や規格変更等の収益性改善を実施したものの、原材料価格等の上昇分を吸収するまでには至らず、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前期を大きく下回りました。

### 営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、93,193百万円（対前期比103.6%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、発売40周年を迎えた「シルベヌ」に、フランス発祥のチョコレートケーキであるオペラの味わいを表現した「シルベヌオペラ」を発売し、大変ご好評をいただきました。また、「贅沢」シリーズに「贅沢ルマンド宇治抹茶ラテ」と「贅沢ルマンドバタースコッチキャラメル」を発売し、「ルマンド」ブランド強化を図ったことに加えて、北海道産バターをたっぷり練り込んだラングドシャクッキー「贅沢ラングロール」を発売し、原料にこだわった新たな展開を図りました。さらには、品ぞろえの強化と市場活性化を狙い、季節に合わせた抹茶、バナナ、レモン、いも・栗、ホワイト、いちごの各フェアを実施し、店頭での販売促進に注力しました。パウダーケーキの「ミルクージュ」や発酵バターを使用した「バタースコッチサンド」がご支持をいただき順調に推移したほか、健康志向ブランドの「80kcal」シリーズと「カーボバランス」シリーズでは、新商品の発売やリニューアルによる活性化、「チョコあ〜んぱん」シリーズにおいてもキャラメルミルクやソフトクリーム風味の商品を展開し商品力の強化を図りました。

キャンデー品目は、「フェットチーネグミ」シリーズで積極的な商品展開とプロモーションを実施し、ブランド強化を図りました。あわせて、「しゃりもにグミ」シリーズではルフト限定商品等を展開し、品ぞろえ強化による商品認知の向上を図り、取り扱いが増加しました。

チョコレート品目は、「アルフォートミニチョコレート」シリーズに、栗やバナナを使用した商品や、ヘーゼルナッツ、ピスタチオを贅沢に使用した商品などを発売し、継続したプロモーションとともにブランドの強化を図りました。「ひとくちルマンド」シリーズでは、「ひとくちルマンドたっぷりショコラ」などを発売し品ぞろえの強化に取り組みました。また、2022年に竣工した魚沼工場の雪室設備で熟成させたカカオ豆を原料に使用した「雪室ショコラ」を発売し、付加価値を高めた商品開発にも取り組みました。一方、節約志向への対応として、値ごろ感を高めた「108gトリュフミルクガナッシュ」などを発売しお客様の購買の選択肢を広げる取り組みも行いました。

菓子全体では、ファミリーサイズ商品群も順調に推移したことから、前期を上回りました。

飲料・食品・冷菓・その他の合計売上高は、4,190百万円（対前期比93.9%）となりました。

飲料品目は、蓄光インクを使用したラベルが暗所でやわらかく発光するミネラルウォーター「天然水 s o n a L n o 5 0 0 m l」を発売し、防災向けのローリングストックの提案を行いました。また、「牛乳でおいしくまるやかなココアボトル缶280」の取り扱いが拡大したことに加え、当社初のスープ缶飲料「牛乳でおいしくスープなシチュー缶185」を発売し、「牛乳でおいしく」シリーズが順調に推移しました。

食品品目は、シート状の新感覚食材「かんたんクッキング」シリーズに、「のせて焼くメロンパンシート」「のせて焼くフレンチトースト風シート」を発売しご好評をいただきました。機能性食品群は、中鎖脂肪酸油（MCT）を配合した「MCTプラス」シリーズに、「MCTプラスソフトクッキーミルク」を発売し、“ベイクドショコラ”と共に機能性表示食品として展開しました。また、「プロテインバー」シリーズに3種の必須アミノ酸を配合した「プロテインバーBCAA+」を発売し、「スローバー」シリーズとともに商品認知の向上を図りました。

冷菓品目は、当社で独自開発した凍らせても柔らかいグミをモナカアイスと組み合わせた「グミーツ」を発売し、シリーズ商品の期間限定展開とあわせて商品認知の向上を図りました。また、カップタイプのアイス「ルマンドクランチアイス」を地域先行発売し、ブランド展開による品目全体の底上げを図りました。一方で、既存の「ルマンドアイス」「ロアンヌアイス」においても、季節商品の発売によるブランド認知向上にも取り組みました。

飲料・食品・冷菓全体では、競争激化や需要が落ち着いた品目があったことから、前期を下回りました。

その他では、通信販売事業は、季節、催事に合わせた商品展開やECチャネル限定の企画展開を実施し、リピーターの増加と販路拡大に取り組みました。

自動販売機事業は、新規開拓によるプチモールの設置台数の増加と既設自販機の収益性改善や効率化を図り、多様な商品を取り扱う対面接触を避けた食品販売ツールとしての環境整備を図りました。

酒類販売事業は、ナショナルブランド商品群で季節に合わせた限定醸造商品を展開したことに加え、行動制限の緩和から飲食店ルート向け商品や土産用受託商品の需要が回復したことにより、順調に推移しました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当連結会計年度の売上高は97,383百万円（対前期比103.1%）、営業利益は1,613百万円（対前期比39.2%）、経常利益は1,838百万円（対前期比38.7%）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,096百万円（対前期比32.5%）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は40,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,544百万円増加となりました。これは主に、売掛金の増加とコスト低減のための大量調達による原材料及び貯蔵品の増加があったことによるものです。固定資産は47,214百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,823百万円増加となりました。これは主に、設備投資に伴う有形固定資産の取得と投資有価証券の取得があったことによるものです。

この結果、総資産は87,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,368百万円増加となりました。

### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は24,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,173百万円増加となりました。これは主に、人材確保のための短期借入金の増加と仕入サイト短縮による仕入債務（支払手形及び買掛金）の減少と利益減少に伴う未払法人税等の減少があったことによるものです。固定負債は9,534百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,440百万円増加となりました。これは主に、設備投資のための長期借入金の増加があったことによるものです。

この結果、負債合計は34,090百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,613百万円増加となりました。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は53,540百万円となり、前連結会計年度末に比べ754百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と剰余金の配当ならびにその他有価証券評価差額金の増加があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は61.1%（前連結会計年度末63.4%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は16,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ609百万円減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,117百万円（前期8,090百万円の収入、対前期比26.2%）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,778百万円と減価償却費4,545百万円、棚卸資産の増加額1,463百万円および仕入債務の減少額577百万円ならびに法人税等の支払額968百万円があったことによるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6,739百万円（前期5,121百万円の支出、対前期比131.6%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,721百万円および投資有価証券の取得による支出1,038百万円があったことによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は3,970百万円（前期1,085百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増額2,000百万円および長期借入れによる収入3,000百万円があったことによるものです。

## （参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率（%）	57.9	61.1	64.1	63.4	61.1
時価ベースの 自己資本比率（%）	56.4	53.0	67.1	64.9	58.6
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率（倍）	0.3	0.2	0.1	0.0	2.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ（倍）	1,349.5	381.6	1,554.0	1,669.7	249.0

自己資本比率 : 自己資本 ÷ 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 ÷ 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 ÷ キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー ÷ 利払い

（注）1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フローおよび利払いは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済環境につきましては、新型コロナウイルス対策の一層の緩和により、個人消費の回復とともに経済活動が力強さを取り戻すことが期待されるものの、地政学的リスクのさらなる長期化の懸念や世界経済の動向など、引き続き、景気下振れリスクに注視が必要な状況で推移すると想定されます。

菓子・飲料・食品業界においては、原材料・エネルギー価格等の上昇が事業環境や消費マインドに与える影響を考慮しながら製品の安定供給に取り組む中で、消費者の節約志向への対応に加え、消費者ニーズや価値観の多様化への対応が求められると考えられます。

そのような中、当社グループは、「利害相反する人を含めて、集団の生存性を高める」を経営理念として、引き続き、食品製造企業として品質保証第一主義に徹し、安定した原材料調達と安定供給体制の確立に取り組み、より一層の品質保証体制のレベルアップを図ってまいります。あわせて、ダイバーシティ経営を推進し、社員の能力を最大化できる働きやすい職場環境のさらなる整備にも努めてまいります。また、「心と体の健康づくり」をテーマに、食を通じた健康づくりの提供と文化・芸術活動やスポーツ・次世代育成の支援活動のほか、モーダルシフトの推進や石油由来プラスチック使用量の削減をはじめとした環境負荷低減に寄与する企業活動、さらには、デジタル分野での食を通じたコミュニケーションの可能性の探求を図り、持続可能な未来社会をデザインしていく健康増進総合支援企業として、SDGsの課題解決を通じたサステナブルな社会の構築を目指し活動してまいります。

商品開発面では、当社グループの「薬食未病」の概念に基づく研究開発の強化・推進に取り組むとともに、市場ニーズにお応えした高品質で実質価値の高い商品およびブランドの育成、次世代商品の開発にも注力してまいります。

営業活動面では、引き続き感染防止対策に努めながら、菓子・飲料・食品・冷菓においてお客様との接点である店頭を重視したマーケティングと、消費行動の変化に柔軟に対応した積極的な企画提案を行い、市場シェア拡大に取り組んでまいります。加えて、自動販売機プチモールや通信販売などのダイレクトマーケティングのさらなる推進と、グローバルマーケットを視野に入れた事業展開も進めてまいります。

利益面では、原材料などの価格上昇が継続する見通しの中、DXによる生産性の向上とコストの削減に努めるとともに、経費の効率的使用、時代の変化と要請とを先取りした新たな価値と需要の創造、高品質・高付加価値商品による市場の活性化、効果的な販売促進活動などを行うことにより、一層の利益確保に努めてまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,790	16,183
受取手形	84	76
売掛金	13,304	13,684
有価証券	2	—
商品及び製品	4,077	4,370
仕掛品	576	614
原材料及び貯蔵品	3,479	4,624
その他	560	866
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	38,871	40,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,910	37,368
減価償却累計額	△19,012	△20,140
建物及び構築物(純額)	15,898	17,228
機械装置及び運搬具	56,531	58,407
減価償却累計額	△45,472	△47,642
機械装置及び運搬具(純額)	11,059	10,765
工具、器具及び備品	4,679	4,914
減価償却累計額	△4,297	△4,528
工具、器具及び備品(純額)	381	385
土地	6,766	6,766
リース資産	1,397	1,154
減価償却累計額	△634	△548
リース資産(純額)	763	605
建設仮勘定	2,235	3,171
有形固定資産合計	37,104	38,922
無形固定資産		
ソフトウェア	328	478
のれん	862	748
その他	63	63
無形固定資産合計	1,254	1,289
投資その他の資産		
投資有価証券	2,957	4,178
繰延税金資産	2,659	2,414
その他	415	409
投資その他の資産合計	6,032	7,002
固定資産合計	44,390	47,214
資産合計	83,262	87,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,477	10,913
短期借入金	—	2,000
1年内返済予定の長期借入金	60	310
1年内償還予定の社債	100	—
リース債務	254	214
未払金	2,355	2,629
未払費用	6,450	6,196
未払法人税等	840	491
賞与引当金	1,308	1,308
その他	534	490
流動負債合計	23,382	24,555
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	78	2,676
リース債務	582	451
繰延税金負債	505	509
役員退職慰労引当金	264	286
退職給付に係る負債	5,650	5,500
負ののれん	12	11
固定負債合計	7,094	9,534
負債合計	30,476	34,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	6,790	6,790
利益剰余金	46,231	46,715
自己株式	△941	△941
株主資本合計	53,116	53,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	607
為替換算調整勘定	△630	△753
退職給付に係る調整累計額	△24	86
その他の包括利益累計額合計	△330	△60
純資産合計	52,786	53,540
負債純資産合計	83,262	87,630

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	94,451	97,383
売上原価	70,448	75,420
売上総利益	24,002	21,963
販売費及び一般管理費	19,885	20,349
営業利益	4,117	1,613
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	65	78
受取賃貸料	15	15
助成金収入	111	42
為替差益	424	52
負ののれん償却額	1	1
その他	55	72
営業外収益合計	681	270
営業外費用		
支払利息	4	8
減価償却費	23	27
賃貸収入原価	8	8
違約金	15	—
その他	0	0
営業外費用合計	53	46
経常利益	4,745	1,838
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	0	118
特別利益合計	1	118
特別損失		
固定資産処分損	8	6
減損損失	7	111
投資有価証券売却損	3	4
投資有価証券評価損	5	55
その他	0	0
特別損失合計	26	178
税金等調整前当期純利益	4,721	1,778
法人税、住民税及び事業税	1,393	602
法人税等調整額	△47	78
法人税等合計	1,346	681
当期純利益	3,374	1,096
親会社株主に帰属する当期純利益	3,374	1,096

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	3,374	1,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	282
為替換算調整勘定	△289	△123
退職給付に係る調整額	74	111
その他の包括利益合計	△263	270
包括利益	3,110	1,366
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,110	1,366
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	6,790	43,743	△941	50,628
会計方針の変更による累積的影響額			△285		△285
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,036	6,790	43,457	△941	50,342
当期変動額					
剰余金の配当			△600		△600
親会社株主に帰属する当期純利益			3,374		3,374
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,774	—	2,774
当期末残高	1,036	6,790	46,231	△941	53,116

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	373	△341	△99	△66	50,561
会計方針の変更による累積的影響額					△285
会計方針の変更を反映した当期首残高	373	△341	△99	△66	50,276
当期変動額					
剰余金の配当					△600
親会社株主に帰属する当期純利益					3,374
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△48	△289	74	△263	△263
当期変動額合計	△48	△289	74	△263	2,510
当期末残高	324	△630	△24	△330	52,786

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	6,790	46,231	△941	53,116
当期変動額					
剰余金の配当			△612		△612
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,096		1,096
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	483	—	483
当期末残高	1,036	6,790	46,715	△941	53,600

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	324	△630	△24	△330	52,786
当期変動額					
剰余金の配当					△612
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,096
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	282	△123	111	270	270
当期変動額合計	282	△123	111	270	754
当期末残高	607	△753	86	△60	53,540

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,721	1,778
減価償却費	4,404	4,545
のれん償却額	114	114
受取利息及び受取配当金	△72	△84
負ののれん償却額	△1	△1
支払利息	4	8
為替差損益 (△は益)	△357	△8
投資有価証券売却損益 (△は益)	2	△114
固定資産処分損益 (△は益)	7	6
減損損失	7	111
投資有価証券評価損益 (△は益)	5	55
売上債権の増減額 (△は増加)	△394	△368
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△653	△1,463
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,329	△577
未払費用の増減額 (△は減少)	750	△279
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16	21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	130	9
その他	△410	△743
小計	9,605	3,009
利息及び配当金の受取額	72	84
利息の支払額	△4	△8
法人税等の支払額	△1,583	△968
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,090	2,117
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,908	△5,721
投資有価証券の取得による支出	△191	△1,038
投資有価証券の売却による収入	81	278
その他	△102	△257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,121	△6,739
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	2,000
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△210	△152
社債の発行による収入	—	99
社債の償還による支出	—	△100
リース債務の返済による支出	△274	△264
配当金の支払額	△600	△612
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,085	3,970
現金及び現金同等物に係る換算差額	131	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,014	△609
現金及び現金同等物の期首残高	14,778	16,793
現金及び現金同等物の期末残高	16,793	16,183

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

2022年4月1日付で、当社の特定子会社であった北日本羽黒食品株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループの事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,197円20銭	2,228円59銭
1株当たり当期純利益	140円47銭	45円64銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,374	1,096
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,374	1,096
期中平均株式数(千株)	24,024	24,024

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,504	14,831
受取手形	84	76
売掛金	13,088	13,441
有価証券	2	—
商品及び製品	3,638	4,195
仕掛品	531	595
原材料及び貯蔵品	3,026	4,368
前払費用	285	257
短期貸付金	1,499	1,578
未収入金	558	1,012
その他	60	81
貸倒引当金	△1,418	△1,513
流動資産合計	36,861	38,924
固定資産		
有形固定資産		
建物	31,324	33,447
減価償却累計額	△16,357	△17,345
建物(純額)	14,967	16,102
構築物	3,130	3,432
減価償却累計額	△2,214	△2,323
構築物(純額)	915	1,109
機械及び装置	54,964	57,069
減価償却累計額	△44,037	△46,453
機械及び装置(純額)	10,927	10,616
車両運搬具	204	263
減価償却累計額	△183	△233
車両運搬具(純額)	20	30
工具、器具及び備品	3,818	4,665
減価償却累計額	△3,500	△4,301
工具、器具及び備品(純額)	317	364
土地	6,747	6,747
リース資産	1,312	1,119
減価償却累計額	△591	△531
リース資産(純額)	720	587
建設仮勘定	2,222	3,165
有形固定資産合計	36,838	38,723
無形固定資産		
のれん	780	676
ソフトウエア	328	478
その他	61	62
無形固定資産合計	1,170	1,217

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,819	3,047
関係会社株式	981	1,121
出資金	2	2
関係会社出資金	0	0
関係会社長期貸付金	2,553	2,613
長期前払費用	59	46
繰延税金資産	2,356	2,446
その他	310	317
貸倒引当金	△2,140	△2,269
投資その他の資産合計	6,943	7,324
固定資産合計	44,952	47,265
資産合計	81,814	86,189

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,331	—
買掛金	9,639	10,589
短期借入金	2,085	2,000
1年内返済予定の長期借入金	50	299
1年内償還予定の社債	100	—
リース債務	241	207
未払金	1,881	2,559
未払費用	6,110	5,948
未払法人税等	736	476
預り金	458	447
賞与引当金	1,152	1,273
その他	16	22
流動負債合計	23,804	23,824
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	—	2,608
リース債務	549	437
退職給付引当金	4,939	5,618
役員退職慰労引当金	264	286
負ののれん	12	11
固定負債合計	5,765	9,063
負債合計	29,570	32,887
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金		
資本準備金	52	52
その他資本剰余金	10,012	10,012
資本剰余金合計	10,064	10,064
利益剰余金		
利益準備金	259	259
その他利益剰余金		
別途積立金	25,030	25,030
繰越利益剰余金	17,063	17,848
利益剰余金合計	42,352	43,137
自己株式	△1,538	△1,538
株主資本合計	51,916	52,700
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	327	601
評価・換算差額等合計	327	601
純資産合計	52,243	53,302
負債純資産合計	81,814	86,189

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	91,408	93,775
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	3,330	3,652
当期商品仕入高	10,342	566
当期製品製造原価	59,242	73,366
合計	72,915	77,585
他勘定振替高	650	791
商品及び製品期末棚卸高	3,468	3,977
棚卸資産廃棄損及び評価損	40	25
売上原価合計	68,836	72,842
売上総利益	22,572	20,932
販売費及び一般管理費		
販売促進費	743	702
運送費及び保管費	7,412	7,864
広告宣伝費	2,123	2,014
給料及び手当	3,477	3,546
賞与引当金繰入額	302	293
退職給付費用	177	182
減価償却費	558	503
のれん償却額	104	104
その他	4,069	4,282
販売費及び一般管理費合計	18,969	19,494
営業利益	3,602	1,438
営業外収益		
受取利息	67	76
受取配当金	64	76
受取賃貸料	517	84
為替差益	272	228
負ののれん償却額	1	1
その他	151	151
営業外収益合計	1,074	619
営業外費用		
支払利息	20	8
貸貸収入原価	488	74
貸倒引当金繰入額	101	223
その他	39	28
営業外費用合計	649	335
経常利益	4,028	1,721

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	0	118
抱合せ株式消滅差益	—	376
特別利益合計	1	494
特別損失		
固定資産処分損	8	6
減損損失	7	111
投資有価証券売却損	3	4
投資有価証券評価損	5	55
その他	0	0
特別損失合計	25	178
税引前当期純利益	4,004	2,038
法人税、住民税及び事業税	1,225	561
法人税等調整額	△41	79
法人税等合計	1,183	640
当期純利益	2,820	1,397

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	15,129	40,418	△1,538	49,982
会計方針の変更による累積的影響額							△285	△285		△285
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	14,843	40,133	△1,538	49,696
当期変動額										
剰余金の配当							△600	△600		△600
当期純利益							2,820	2,820		2,820
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,219	2,219	—	2,219
当期末残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	17,063	42,352	△1,538	51,916

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	381	381	50,363
会計方針の変更による累積的影響額			△285
会計方針の変更を反映した当期首残高	381	381	50,077
当期変動額			
剰余金の配当			△600
当期純利益			2,820
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△53	△53	△53
当期変動額合計	△53	△53	2,166
当期末残高	327	327	52,243

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	17,063	42,352	△1,538	51,916
当期変動額										
剰余金の配当							△612	△612		△612
当期純利益							1,397	1,397		1,397
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	784	784	—	784
当期末残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	17,848	43,137	△1,538	52,700

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	327	327	52,243
当期変動額			
剰余金の配当			△612
当期純利益			1,397
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	273	273	273
当期変動額合計	273	273	1,058
当期末残高	601	601	53,302